

授業科目名	演劇ワークショップ実習 B	担当教員	石井 路子 鎌田 麻衣子 島村 和秀
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	実習		
開講年次	1 年 第 4 クォーター		
講義内容	演劇には古今東西様々なジャンルがある。本授業では、演劇の様々なジャンルのうち、古典芸能、現代演劇、インプロについて体験的に学ぶためにワークショップ形式での実習を行う。古典芸能については大蔵流狂言の能楽師を招聘し、能楽の歴史をはじめとする資料に触れたり、実際に謡や舞について体験的に学ぶ。現代演劇についてはプロとして活動する劇作家・演出家を招聘し、劇作家・演出家自身の手法について体験する。インプロについては、国内で活躍するインプロバイザーを招聘し、インプロの歴史、方法、考え方を体験的に学ぶ。各ジャンルごとのクラスに分かれて実施する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの演劇ジャンルの理論について具体的に説明することができる</li> <li>・それぞれの演劇ジャンルの方法について具体的に説明することができる</li> <li>・それぞれの演劇ジャンルの美学について具体的に説明することができる</li> </ul>		
授業計画	<p>受講者数や外部講師の予定等により実施内容は変更することがあるかもしれませんが、基本的には以下のような内容を考えています（本実習の詳しい内容については実習説明会で説明します）。</p> <p>6 日間の集中講義(1 日 8 時間)で実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. それぞれのジャンルの背景、理論について学ぶ</li> <li>2. それぞれのジャンルの方法について学ぶ</li> <li>3. それぞれのジャンルの形式的美学について学ぶ</li> <li>4. それぞれのジャンルを身体を用いて実践する</li> <li>5. 実践についてお互いに見合う</li> <li>6. それぞれのジャンルについて体験したことをふりかえる</li> </ol>		
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学んだことについて毎回授業後に日報を提出する。</li> </ul>		
テキスト	特に指定しない。		
参考文献	『初めての能・狂言：能楽入門 1 (Shotor Library)』(三浦 裕子 (著), 山崎 有一郎 (監修), 横浜能楽堂 1998)、『自由になるのは大変なのだ：インプロマニュアル』(今井純、論創社、2006)、『キース・ジョンストンのインプロ』(今井純、論創社、2013)		

成績評価の基準	・WS への取り組み姿勢や態度(50%)、日々の WS 日報(50%)
履修上の注意 履修要件	人数超過の場合は志望理由を参考に選抜する場合もある。
実践的教育	芸術文化分野の実務経験を持つ教員が、その実務経験を生かして教授することから、実践的教育に該当する。
備考欄	